

天下の奇祭

鳥羽の火祭り

炎のすずみに
勇猛に挑む男たち。
千二百年の歴史と伝統を
魂で受け継ぐ。





国指定の重要無形民俗文化財、鳥羽の火祭りが2月10日に鳥羽神明社で行われました。昼間は寒空の下、祭りの中心となる神男2人と奉仕者が海へ入り身を清めました。夜になると「ネコ」と呼ばれる奉仕者が福地と乾地の2地区に分かれ、巨大な松明「すずみ」から神木と十二縄を競って取り出す神事が営まれました。燃え盛る炎の中に次々と飛び込む男たちの勇姿に、境内いっばいに集まった観客から歓声とともにどよめきも上がり、祭りは最高潮に達しました。

